

ま ち の 話 題

世界にタツクルつかめ栄光

原・林選手
激励社行会

レスリングでソウルオリンピックに出場する原喜彦選手(二十四歳・上浦出身)と、オーストリアで行われるジュニア世界選手権大会に出場する林雄一選手(巻農高三年・古川)の激励社行会が、六月十日、白根第一中学校で行われました。

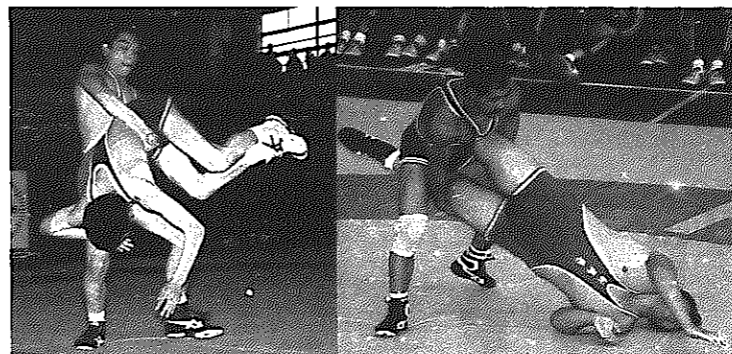
会場となった一中体育館は、一中の生徒全員、市内の中学三年生、戸石小の五、六年生をはじめ、世界に羽ばたく両選手を一目見ようと集まった市民ら約千八百人で埋め尽くされました。

市長や来賓の激励のあいさつのもと、児童生徒を代表して、原選手へは戸石小六年の近藤純明君が、林選手へは一中三年の古田幸司君が、「僕たちの学校を卒業した先輩が、世界で活躍することを誇りに思います。優勝目指してがんばってください」と激励。両選手は模範試合を披露したあと、「郷土の代表として、良い成績を収めるよう精いっぱいがんばります」と決意表明しました。

世界のひのき舞台上立つ両選手の活躍を、大いに期待しましょう。がんばれ原選手！がんばれ林選手！



一中応援団によるエール



原選手(右)、林選手(左)の模範試合

5年ぶりの郷土訪問団

東京
白根会

創立二十五周年を迎えた東京白根会の一行四十一人が、大風合戦に合わせて六月四日、郷土訪問しました。歓迎会では、市三役らが出席し、席上、東京白根会から福祉事務所、白根小学校、風合戦協会、文化スポーツ振興基金にそれぞれ寄付金が贈られました。

歓迎会を終了すると、さっそく堤防に上がり風合戦を見物。歓迎東京白根会と書かれた巻風が上ると、大きな拍手を送っていました。

翌五日は、北部ニュータウン、北部工業団地、物産展を見学。帰りには、両手にどっさりの土産品でした。



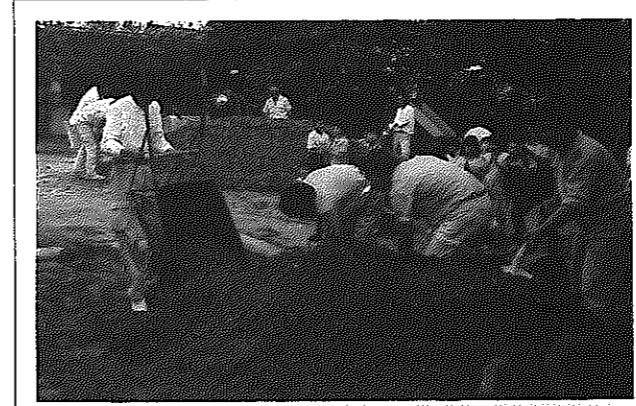
砂山で元気に遊んでね

保育園の
園庭補修

保育園の遊び場の整備にと、白根郷建設業協会青年部(会員二十一人)では、市内十四か所の保育園に二トンダンプに一台ずつ川砂を寄付し、園庭の整備に汗を流しました。

六月十七日は、中央保育園などの園庭を整備し、園児たちの見守る中、砂を運び入れ、さかんな歓声を受けていました。

荏原建一会長は、「今年で七年目になりますが、私たちの贈った砂で、園児が大きな砂山を作って元気に遊んでくれればと思います。地域の皆さんの役にも立つことだと思います。毎年続けていきたい」と話しています。



むらびつこ見学者でラッシュセンター

白根衛生センター組合では、本市をはじめ近隣町村から、ちびっ子見学者のラッシュが続いています。これは、小学四年生でごみ処理について学習するためで、六月九日には庄瀬小四年生五十人が訪れていました。

当日は、あいにく小雨でしたが、係員の説明に子どもたちは興味津々。一日の処理量は六十一ト、焼却炉の温度は八百度から一千度の高温になることなど熱心に学習していました。

同センターでは、子どもたちの見学は大歓迎で、「学習したことを家族で話し合ってください。ごみを出すルールを守ってほしい」と話しています。



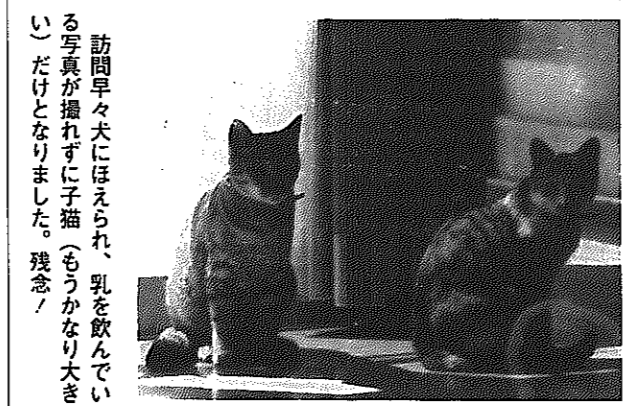
空みの親より育ての犬

犬育て

「犬が猫を育てている」という情報をもらい、六月十三日、新村の玉木吉さん宅を訪問しました。

二月の始めごろ、お孫さんが犬の散歩中、捨てられていた子猫五匹をかわいそうに思い、家に連れてきてほ乳瓶で牛乳をやって育てていました。数日後、犬が横になつていると乳に子猫がむさぼりつき、犬も嫌がる様子もなく、飲ませていたそうです。以来ずっと犬が、子猫のめんどうを見ているとのこと。

玉木さんは、「子どもを生んだことがない犬なので、実際に乳が出てくるかどうか」と話しています。



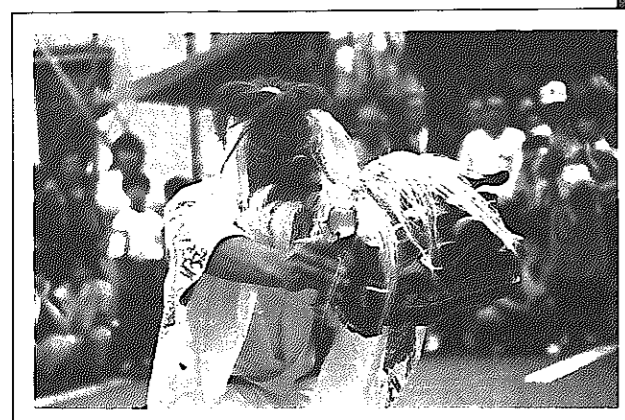
訪問早々犬にほえられ、乳を飲んでる写真が撮れず子猫(もうかなり大きい)だけとなりました。残念!

これをやるために里帰り

新飯田
祭り

新飯田祭りは雨が降らないと言われているとおり、六月十六日は薄曇りの祭り日和。大名行列やみこしなどが出て大いに盛り上がりました。

恒例の小川連による神楽舞は、十二人の若い衆により、一軒一軒舞を披露し、目抜き通りを練り歩きました。ハイライトは、道路の真ん中で行う「てんぐ舞」で、てんぐの勇ましい声や、神楽、ひよっとことのエーモラスなやりとりにおおぜいの観衆から大きな拍手が沸いていました。てんぐ役の木津吉博さん(十九歳、大学二年)は、「このために群馬から里帰りしました」とのこと。



車の車で取材に行きます

新しい
広報車

市広報車が新しくなりました。今ご購入したのは、四輪駆動の軽自動車で、「広報しろね」取材の新しい足となります。

いままでの広報車と比べると、だいぶ小型になりますが、その分小回りのきいた取材に励みたいと、私たち係員三人は張り切っています。

まちな話題では、皆さんからの身近な話題の提供をお待ちしています。「楽しい」、「心暖まる」、「珍しい」、「おもしろい」、「あつと驚く」、「さわやかな」話題がありましたら、すぐに電話をください。新しい広報車で私たちが伺います。



新しい広報車の前で人間ブリッジ。市民と市政の掛け橋目指しがんばります